



# やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会  
ふよう病院  
千葉芙蓉病院  
きやらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報  
令和7年10月号

芙蓉会

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

食欲の秋、スポーツの秋と申しますが、過ごしやすい日々が続くようになりました。しかし、世間ではインフルエンザの患者数が増えているとの情報もあり、短い秋となりそうです。今少し秋の雰囲気を感じてみたいと思うこの頃です。

さて、秋用だか夏用だか服装に迷っていた10月の初旬に、特定技能外国人第3期生採用の為、インドネシアを訪問してまいりました。意思の疎通が難しい外国人だからこそ、面接での丁寧な面接が不可欠と考え、日本語学校3か所に向いて26名を面接。順調にいけば、来春にも12名の3期生が来日する予定です。昨年の12月に迎えた第2期生14名は、予想以上に勤勉で、研修期間を予定より短縮し、早期の現場配属が実現できました。一年を迎える前に3名が夜勤入りを予定しており、頼もしい限りです。3期生の活躍にも期待しています。

芙蓉会が特定技能外国人の積極的な採用を進める最大の理由は、将来的に予想される更なる介護人材不足です。急速な高齢化による要介護対象者の伸び率に、介護人材の数が追いついていない現状の中、ここ数年、人員不足対策として介護現場の業務負担軽減を図るICT化が盛んに推奨されています。しかし、これだけでは回せないのが介護現場の現実。故に外国人の採用に注力しております。

来春、法人内の特定技能外国人の在籍者は30名を超えます。最長で5年間の在留期間が可能ですが、期間内に介護福祉士の資格取得が義務



づけられており、取得できない場合は原則、帰国しなければなりません。先日、秋祭りにボッチャ大会を実施しましたが、特定技能のスタッフとご利用者とのやり取りが非常に微笑ましく、ご利用者と一喜一憂する姿を見て、日本語力、介護力の向上に安堵すると同時に、何とか資格を取得させてあげたいと思いました。しかし、実際の合格率を調べると、約30%台という厳しい現実。そこで、本人の能力も重要ながら、法人側のフォローも必須と考え、10月から週1回、就労後に、日本語能力向上に重点をおいた勉強会を開始しました(第1期生フィリピン5名を対象)。一人でも多く、笑顔で6年目を迎えるよう、サポートして参ります。

最後に、現在ふよう病院では、外来の活性化を目指し、ご利用者親族を対象としたインフルエンザ予防接種の予約受付をしております。今後も地域に根差した運営を模索して参ります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田



- ・千葉芙蓉病院
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム

## 2025年8月院内研修「個人情報及びプライバシー保護に関する研修」

**発行者：**感総務課（研修担当）

**内 容：**今回の研修は、医療・介護業務の中で必要な「個人情報保護」、「プライバシーへの配慮」についての意識を高める目的で、職員全員を対象に書面研修で実施。加えて、電子カルテの導

入に伴い、職員一人ひとりが注意しておくべきことにも触れ、要配慮個人情報を扱う者として、してはならないことを共有するため、法人独自のチェックシートを作成し提出してもらいました。

## 2025年9月院内研修「身体拘束の意識改革」

**発行者：**虐待防止委員会

**内 容：**今回の研修では、緊急・やむを得ない場合に行われている身体拘束について、職員の視点と利用者側の視点で考え、利用者の安全のためと言ひながら職員の安心だけを優先して実施されていないか、職員や施設にとって弊害となっていることがないかを皆で考えてきました。身体拘束を無くすための工夫が大切であることを周知し、身体拘束0をうたえる病院・施設を目指し、継続して取り組んでまいります。



## 2025年9月院内研修「虐待防止研修」

**発行者：**研修委員会

**内 容：**今回の研修では、厚労省から発表されているR6年度医療・介護業界における虐待の現状に関するデータの一部を示し、業界全体で虐待の通報件数が増える一方であることや、その原因を伝え、もし施設内で虐待行為を目撃した場合の当法人の通報体制について説明しました。また「老人は国の宝」を法人の標語に掲げている私たちの施設内で、虐待行為は絶対にあってはならないことを強調しました。



## 2025年9月防災訓練

**発行者：**ふよう病院 防災委員会

**内 容：**芙蓉会では定期的に実践を伴う防災訓練を実施しています。今回は、原町内会や特別養護老人ホーム芙蓉園の方達にもご参加いただきました。町田市から借りた起震車体験、消火器を使っての消火、消火栓の散水体験、非常用



仮設トイレの組み立てや非常用の調理器を使っての非常食作り等、有事の際に「道具はあっても使い方を知らなければ無いのと同じ」ということがないように準備しておくことが、一番の備えだと考えて訓練プログラムを作成しています。



## 2025年10月必修研修 医療安全②「事故防止への取り組み」

**発行者：**医療安全部会

**内 容：**今回の研修では、医療・介護現場で起きるヒューマンエラーについて取り上げ、その原因になることや避けられない現実と、それを起こさないためのインシデントレポートの重要性について説明した。また、電子カルテ上でレポートを提出する方法についても、実演を交えながら注意点等をレクチャーしました。



## 2025年10月管理職・中堅職員研修 「業務改善研修」

**発行者：**(株)インソース 坂本講師

**内 容：**この研修は、法人をあげて取り組む業務改善の第1歩として実施しました。管理職を中心に中堅職員も交え、日頃の業務に改善点はないかを探し、改善するには何が必要でどんなアプローチが有効なのかをグループ討議を中心に進めていく内容でした。参加者それぞれが他部署の現状や工夫していることを共有し、新たな気づきを得られる良い研修会となりました。業務改善の目的が、仕事の効率を良くするということに留まらず、ご利用者に笑顔になつていただくための時間を多くつくることにつなげていきたいと思います。



## 秋祭り

10月18日(土)、感染症の影響で中止となつた9月の「敬老祭り」の代わりに秋祭りを開催いたしました。中秋の名月は過ぎてしまつたが、コンセプトは「お月見」です。

会場入口では4回にわたり合計八升の餅をつき、汁粉を提供。ウサギが華を添えました。餅つきは大好評で、中には車いすから立ち上がり、力強く餅をついてくださる方も。つきたての香りと活気に包まれた会場には、ご利用者の皆様の笑顔があふれていきました。アルコールを解禁した縁日コーナーには、お酒、ジュース、たこ

焼き、芋羊羹、わたあめが並び、ゲームコーナーでは3種類のゲームを開催。お祭りムードを楽しむご利用者で大賑わいでした。リハビリ室では、恒例になっている施設対抗ボッチャ大会も開催。スポンサー契約をしているフットサルチーム「ペスカドーラ町田」からマスコットのドーラちゃんとチアリーダーの方達が応援に駆けつけ、会場全体が温かい歓声に包まれました。

ご利用者や職員の笑顔が様々な場所で行き交つた秋祭り。これからも心がつながる楽しい催しを大切にしてまいります。



## 2025年9月千葉芙蓉病院防災訓練

**内 容：**夜間想定による秋季防災訓練を9月24日に実施致しました。

新人職員を中心に訓練に参加し、実際に患者様にベッドごと避難していただきました。

災害時の避難の大変さを改めて感じることができ良い訓練となりました。また、消火訓練や通報訓練、防災設備点検も行いました。

火災を出さないことが一番大切ですが、普段からの防災意識を心がけ、万一の対応ができるように努めてまいります。



## 2025年10月千葉芙蓉病院医療ガス研修

**発行者：**共同ガス株式会社

**内 容：**医療ガスの委託先である共同ガス(株)のご担当者様をお招きし、医療ガスの研修を実施しました。

全部署の職員が参加し、医療ガスの基礎知識から安全な取り扱い方法について学びました。

医療ガスは医療機関に欠かすことのできない重要なものです。使用用法を誤ると重大な事故につながる危険性もあります。この研修を通じて、その重要性を改めて認識するとともに、日々の業務の中で一人ひとりが安全意識をもつて業務にあたることの大切さを再確認しました。

今後も安全で安心な医療提供体制の維持・向上に努めてまいります。

